

適用規格						
定格	使用温度範囲	-55℃ ~ +125℃(注1)	保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃(梱包状態)		
	電圧	AC/DC 50V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下(結露しないこと)		
	電流	0.5 A	適合ケーブル(FPC/FFC)	t=0.3±0.05mm : 金めっき (GNDプレート : すずめっき)		
性能						
	項目	試験方法	規格	QT	AT	
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。(注2)	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電気的 性能	耐電圧	AC 150Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	-	
	絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。	500MΩ以上	○	-	
	接触抵抗	開回路電圧AC 20mV以下, 1mAで測定する。	100mΩ以下 ※FPC/FFC導体抵抗を含む (測定長 8mm(FPC)、20mm(FFC))	○	-	
機械的 性能	耐振性	周波数 10~55Hz, 片振幅 0.75mm, 3軸方向各10サイクル試験する。	① 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗: 100mΩ以下 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	衝撃	加速度 981m/s ² , 持続時間 6ms, 正弦半波 3軸両方向各3回試験する。		○	-	
	繰返し動作	10回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 100mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	FPC/FFC挿抜力	適合FPC/FFCで測定する。 (初期, FPC/FFC端末厚 t=0.3mm)	挿入力: 水平方向(n:極数) 4+0.3×n N以下(注3)(FPC/FFC) 4+0.39×n N以下(注3)(シルド [®] FFC) 抜去力: 水平方向(n:極数) 8.5+0.16×n N以下(注3)(FPC/FFC) 8.5+0.2×n N以下(注3)(シルド [®] FFC)	○	-	
	FPC/FFC保持力	適合FPC/FFCで測定する。 (初期, FPC/FFC端末厚 t=0.3mm)	水平方向(n:極数) 18+0.05×n N以上(注4)(FPC/FFC) 7+0.11×n N以上(注4)(シルド [®] FFC)	○	-	
環境的 性能	温度サイクル	温度 -40→+15~+35→+125→+15~+35℃ 時間 30 → 2~3 → 30→ 2~3分 に5サイクル放置する。	① 接触抵抗: 100mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 50MΩ以上 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	定常状態の耐湿性	温度 60±2℃, 相対湿度 90~95%中に 96時間放置する。		○	-	
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10~+65℃, 相対湿度 90~96%中に 10サイクル(240時間)放置する。	① 接触抵抗: 100mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 1MΩ以上(高湿時) ③ 絶縁抵抗: 50MΩ以上(乾燥時) ④ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	耐熱性	温度 125±2℃中に, 96時間放置する。	① 接触抵抗: 100mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	耐寒性	温度 -55±3℃中に, 96時間放置する。		○	-	
	二酸化硫黄	温度 40±2℃, 相対湿度 80±5%, [JIS C 60068-2-42] 濃度 25±5ppmに, 96時間放置する。	① 接触抵抗: 100mΩ以下	○	-	
	はんだ付け性	はんだ温度 245±3℃ 浸せき時間 3±0.3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の95%以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	-	
	はんだ耐熱性	1) リフローの場合 ヒート温度 250℃MAX 220℃以上, 60~90秒, リフロー回数: 2回迄 2) はんだこての場合 350±10℃, 5±1秒間	外観の変形, 及び端子などに 著しいガタがないこと。(注5)	○	-	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
	1	DIS-F-00006186	KN. KOBAYASHI	HS. HIRAHARA	20200615	
備考	試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。			承認	HS. SAKAMOTO	20190409
注1)	FFC 使用時の耐熱温度は105℃となります。耐熱温度がFPC: 125℃未満、 FFC: 105℃未満の場合は、FPC・FFCの耐熱温度が適用となります。			検図	HS. SAKAMOTO	20190409
注2)	本品は、ワザクションロック(嵌合操作はFPC/FFC挿入のみ)、下接点仕様です。 FPC/FFC抜去が必要な場合のみ、ロケル [®] の操作を実施してください。			担当	RT. IKEDA	20190409
注3)	FPC/FFCは本品に対し、斜めに挿入/抜去しないようご注意ください。			製図	NM. YONEYAMA	20190409
注4)	FPC/FFCに垂直方向の荷重が加わる場合は、FPC/FFCを固定してご使用願います。 FPC/FFCの仕様により上記の値が変わる場合があります。					
注5)	モールドに若干ふくれが発生する場合がありますが、製品性能上問題ありません。					
注6)	ウイカ [®] 発生有無、長さ、それを起因とする性能劣化については規格対象外になります。					
注	QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番	SLC-388109-00-00		
HRS	製品規格表		製品名	FH63S-**S-0.5SH		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL580		△ 1/1